

● ご あ い さ つ ●

大分県は、古くから「豊の国」と呼ばれているように、豊かな自然に恵まれています。それは、雄大な草原の広がる阿蘇くじゅう国立公園、リアス式海岸の日豊海岸国定公園、原生林の広がる祖母傾国定公園などの特徴のある自然公園があることからよくわかります。県内には2つの国立公園、3つの国定公園、5つの県立自然公園があり、その公園面積は県土面積の約28%を占め、全国第7位に位置します。

自然には、人間による開発から免れ、長い年月をかけて現在に至った原生林のようなものもあれば、人が野焼きをし、牛馬を放牧することで、多種多様な野草が生育できる草原のようなものもあります。このように特徴的で多様な自然は、色々な意味で人間による影響を受けながらも、微妙なバランスのうえで成りたっています。近年、身近な自然が少なくなったという声を聞きますが、人間がよりよい暮らしを求めて行う経済活動が行き過ぎて人間と自然とのバランスを壊していることが大きな原因であると思います。

人間と自然とのバランスのほかに、生態系と呼ばれる自然自体のバランスもあります。それぞれの地域には、地形、気象、水質などの特徴のある自然環境があり、その環境に適した植物や動物が生息し、豊かな自然を育みます。特に、原生林が広がる地域は、雨量が多く、湧水などの特徴のある水環境、多様な植物相や動物相がみられ、学術的にも価値があるものが多くあります。

県ではこれまでも関係市町村と協力して、公園内のすぐれた自然環境が残っている地域について、総合的な自然環境学術調査を実施してきました。

このガイドブックは平成9年度に実施し、その成果をまとめた『酒吞童子山地域自然環境学術調査報告書』をわかりやすく、そして見やすく解説し、広く皆さんに紹介するとともに、改めて自然の大切さを知っていただくために『自然ガイドブック Vol.6 酒吞童子山地域の自然』を作成いたしました。

一人でも多くの方が、津江山地の酒吞童子山地域の自然、そして、身近な自然やそのしくみについても興味を持ち、自然環境を保全することの大切さを理解し、そして行動するきっかけにいただければ幸いです。

終わりに、このガイドブックを作成するにあたりご尽力いただいた方々に厚くお礼申し上げます。

平成12年3月

大分県生活環境部長 秋吉 豊利

も く じ

ごあいさつ

酒吞童子山地域のプロフィール	2
----------------	---

酒吞童子山地域の自然

酒吞童子山地域の自然景観	4
酒吞童子山地域の地質	6
酒吞童子山地域の気候	8
酒吞童子山地域の水環境	10

酒吞童子山地域の生物

酒吞童子山地域の植物 山頂帯・尾根	12
酒吞童子山地域の植物 溪谷	14
酒吞童子山地域の自然林 原生林の証 ^{あかし} として	16
酒吞童子山地域のこけ植物・地衣類 ^{ちい} 群落	18
酒吞童子山地域の水生動物	20
酒吞童子山地域の陸生昆虫	22
酒吞童子山地域の野鳥	24
酒吞童子山地域の哺乳類 ^{ほにゅう} ノウサギの不思議	26

酒吞童子山地域の自然を考える	28
----------------	----